

## ◆主題名

本当の友達って？

内容項目  
B-(8)友情・信頼

教材名・出典  
5月の風—ミカ—

本時のねらい

本当の友達関係を築くには、相手を信頼し、尊重し合える関係においてできあがることを考えさせたい。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容→導入

○先週は、「5月の風 カナ」を読んで考えました。みなさん、感想集読みましたか？スマホを持っていないことで、不安な思いをしたカナが、最後「自分で決めたことだから」と言って、自分からミカに声をかけましたね。あなたはどう思いましたか？

「自分で決めたことを守ろうとするカナがすごい」とか、「ちゃんと気持ちを伝えられるカナみたいになりたい」とかの中に、「自分はカナみたいに行かない」という感想もありました。今日の主人公は、「ミカ」です。どんな話か、読んでみましょう。

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

①ミカはどうして場所の変更をカナに伝えなかったんだろう？

A: みんなが「いいんじゃない？」って言ったから。めんどうだったから。

②どうしてミカは涙があふれたんだろう？涙の訳は？

A: 後悔・罪悪感・自己嫌悪 ☆「カナの信頼に応えていない」を出したい！

③「友達だよ、私たち」と言われて、ミカはどんな気持ちになっただろう。

## ◆テーマ

(中心となる発問)

「友達」って、なんだろう。

☆「本当の友達になるために、大切なことは？」

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

## ◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他( )

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のもさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー(クラス全体) 2 ペア 3 グループ 4 その他

## ◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

### 【授業後の反省】

○前回に引き続き、同じできごとを違う人物の視点から捉えた授業展開なので、生徒が多角的な視点を学ぶのに最適な教材だと思う。だから、前回のミカの気持ちを想起しながらすすめた。

本文通読後に、「どうだった？衝撃の展開じゃない？」「あれだけミカはカナの気持ちを思っていたのにね」などの声かけをした。

○「涙」をキーワードにして、ミカがカナに電話した夜の、ミカの気持ちを考えさせた。

場面発問に書いた、予想した生徒の意見は、だいたい出ていた。

○中心発問は、「友達をつくる」には、まず相手に対して自分がどうしたらいいのかを考えさせたくて、設定した。

☆の発問と迷った末、上記にした。本当の友情を築くには、相手の態度や気持ちを量るより、まず自分が相手にとって信頼できる存在なのかを問わなくちゃいけないんじゃないかなどを話した。

カナがもし、「なんで連絡くれなかった？」と責めていたらどうなったかな、とかもたずねてみた。